

令和5年度後期 旭川市立近文小学校

学校評価

地域・保護者の皆様へ自己評価結果の報告

はじめに

12月に実施した「よりよい学校教育のためのアンケート」に多数のご回答をいただきました。保護者の皆様のご協力ありがとうございました。

同時に実施した児童と教職員を対象としたアンケートとあわせて結果を集計し、新年度に向けて改善策を検討しました。集計結果と新年度の方向、アンケート記述に対する回答をお知らせします。

◆ 評価について

4段階評価（4：よくあてはまる、3：おおよそあてはまる、2：あまりあてはまらない、1：まったくあてはまらない）の平均値を出しています。高評価と低評価の項目には色を付けていますが、教職員と保護者・児童では基準値が違います。また、令和5年度の前期と比較して、+0.2以上の項目と-0.2以下の項目に印を付けています。「肯定%」は、「よくあてはまる」「おおよそあてはまる」を「肯定的評価」として、その割合を表しています。

◆ 平均値・回答率

	教職員	保護者	児童
1 全項目の平均値	3.62	3.51	3.50
2 肯定的評価の割合の平均値	94.6%	96.7%	92.5%
3 アンケートの回答率	90.2% (37/41)	46.1% (178/386)	99.2% (383/386)

◆ 集計結果の表示

教職員評価の表示	3.8以上 3.5以下	94% 未満	前回比 0.2以上	前回比 0.2以下
保護者・児童の表示	3.6以上 3.3以下	90% 未満	前回比 0.2以上	前回比 0.2以下

Ⅰ 全職員が協働する学校づくり

		職員評価集計結果				保護者評価集計結果				児童評価集計結果				
		令和5年度後期		R5 前期	R4 後期	令和5年度後期		R5 前期	R4 後期	令和5年度後期		R5 前期	R4 後期	
		平均値	肯定%	平均値	平均値	平均値	肯定%	平均値	平均値	平均値	肯定%	平均値	平均値	
1	学校の教育目標・重点目標達成に向けた運営	3.8	96%	3.5	3.8					3.6				
2	服務規律の徹底と不祥事防止	3.8	96%	3.9	3.8									
3	特別支援教育	3.6	96%	3.7	3.7									
4	働き方改革	3.6	93%	3.7	3.6									

【新年度の方針・アンケート記述に対する回答】

- 本校の教育目標・重点目標の達成に向けて、変化にしなやかに対応できる分掌組織を機能させ、「これから」の教育を大切にする学校を目指します。また、全教職員の教育力を結集、分担し、質の高い教育の保障を図ります。
- 子どものロールモデルとして主体的に学ぶ教職員研修を重ねていきます。校内研修や自己研修を通して、授業づくりやICTの活用、今日的な課題等について幅広く学び、授業で子どもの資質・能力を確実に育む教師、子ども一人一人の可能性を引き出す教師を志向します。また、教職員の多様な強みを生かし、支え合い、切磋琢磨する教職員集団を目指します。
- 教育公務員としての教育的愛情と倫理観を高め、コンプライアンスの確立に努めます。従来行ってきた強調月間の取組や研修を今後も継続して、服務規律保持や不祥事防止の意識を更に高めていきます。
- 今後も教育的ニーズに応じた特別支援教育を推進していきます。一人一人の現状を把握して個別の指導計画を作成し、適切な学びの場や合理的配慮を提供するとともに、保護者や関係機関と連携しながら、チームとして支援していきます。
- 教育の質の向上を図るために、教職員の働き方改革を今後も推進していきます。教職員自身がウェルビーイングを自分事として捉え、組織的に改善を図っていきます。学年・ブロック内の教科担任制やICTの活用を拡充したり、業務をバランスよく分担したりします。

II 家庭・地域に信頼される学校づくり

		職員評価集計結果				保護者評価集計結果				児童評価集計結果			
		令和5年度後期		R5 前期	R4 後期	令和5年度後期		R5 前期	R4 後期	令和5年度後期		R5 前期	R4 後期
		平均値	肯定%	平均値	平均値	平均値	肯定%	平均値	平均値	平均値	肯定%	平均値	平均値
6	保護者・地域への情報発信	3.7	97%	3.8	3.6	3.7	99%	3.7	3.7				
7	PTA活動	3.6	97%	3.6	3.3	3.5	97%	3.5	3.2				
8	地域連携	3.7	97%	3.7	3.8	3.7	99%	3.6	3.6				
9	幼保中との連携	3.6	93%	3.5	3.6								

【新年度の方針・アンケート記述に対する回答】

- 保護者アンケートでは、概ね高い評価をいただきました。今後も各種通信やホームページ等で、本校の教育活動や子どもの様子を積極的に発信していきます。また、学校評価を有効に活用することや、日頃から保護者・地域からの要望や質問に丁寧に対応していくことで、信頼される学校づくりを進めていきます。
- 今年度のPTA活動は、役員の負担軽減を図りながら、組織体制を維持して学年行事などを再開してきました。保護者アンケートでは、活動を更に縮小してほしいという要望がある一方で、学年行事の実施を歓迎するご意見も多数ありました。本部役員会議等では、これらのご意見を受けて、組織や活動内容をスリム化する方向で検討しています。具体的には新年度の総会で提案する予定です。
- マチコミを活用した学級通信等の配信について、便利になったといったご意見やデータ削除までの期間を延ばしてほしいというご要望がありました。
今後も、各種通信等は、保護者に早く確実に届くよう、また保護者がどこでも確認できるよう、マチコミを活用して配信します。今年度保護者の皆様のご協力により情報の流出等がなかったことから、新年度はデータ削除までの期間を1か月程度にします。今後も情報の管理にご協力をお願いします。
- 個人懇談の回数を増やしてほしいというご要望がありました。新年度も希望者は参観日の懇談後に個人懇談を実施します。その旨を案内文書にも記載しますので、希望される場合はご連絡ください。また、担任や担当者が可能なときは個別に面談できますので、学校やお子様のことでご質問などがあれば、遠慮なくお知らせください。

III 安全でぬくもりのある学校づくり

		職員評価集計結果				保護者評価集計結果				児童評価集計結果				
		令和5年度後期		R5 前期	R4 後期	令和5年度後期		R5 前期	R4 後期	令和5年度後期		R5 前期	R4 後期	
		平均値	肯定%	平均値	平均値	平均値	肯定%	平均値	平均値	平均値	肯定%	平均値	平均値	
11	安心して学び育つ、温かい学級集団づくり	学校は、思いやりのある友達関係を築き、適切ないじめの対応をしながら、安心して学べる学年・学級集団をつくっている。	3.6	96%	3.6	3.7	3.4	95%	3.5	3.3	3.7	97%	3.7	3.7
12	自律する力を育む学級経営	学校は、考えて行動する場面や互いに認め合う場面をつくり、自分のよさを気付けさせ、児童の自律する力を育てている。	3.6	97%	3.6	3.6	3.5	98%	3.6	3.4	3.4	93%	3.4	3.3
13	規範意識の育成	学校は、児童が学校の決まりや約束を守って生活するよう指導することで、規範意識を育てている。	3.4	93%	3.5	3.6	3.5	95%	3.4	3.4	3.5	93%	3.5	3.3
14	安全教育・安全管理	学校は、校内外の安全指導をとおして、安全教育を充実させている。また、危機管理を徹底している。	3.7	96%	3.7	3.8	3.5	94%	3.5	3.5	3.8	98%	3.8	3.8
15	保健指導・環境美化	学校は、保健指導や生活習慣の指導をとおして健康的な生活をする力を育てている。また、清掃指導をとおして清潔な環境づくりをしている。	3.6	96%	3.5	3.7	3.5	97%	3.6	3.5	3.6	96%	3.6	3.5

【新年度の方針・アンケート記述に対する回答】

- 子どもを主語にし、一人一人の心理的な安全を確保する学校を目指します。そのために、安心感と充実感を得られる教育活動を進めるとともに、変化する子どもたちを的確に把握して予防的な指導に努めます。また、子どもの不安やトラブルに対しては、複数の教員がチームとなり組織的に課題解決を図っていきます。
- 教育活動全体を通して、子どもたちに思いやりの心と人権尊重の意識を醸成していきます。各学級では、安心・安全な風土や自己決定の場を大切にしながら、よりよい人間関係を育む学級経営に努めます。
- 学校いじめ防止基本方針に基づき、いじめの未然防止と早期発見・早期対応に努めます。また、「いじめ見逃しゼロ」を大切にしていじめを積極的に認知し、保護者と連携しながら複数の教員で子どもの成長を見守っていきます。
- 定期的に「近文っ子のきまり」を確認して振り返る場を設けるなどして、規範意識や自己指導能力の育成を図ります。また、挨拶、返事、言葉遣い、話をしっかり聴くなどの基本的な生活習慣について継続的に指導します。
- 保護者アンケートに子どもの持ち物についてのご意見がありましたが、今後も近隣の小中学校と連携しながら、社会や地域の変化、児童の実態を把握し、持ち物や決まり事を見直していきます。
- 日常の交通安全指導や避難訓練、情報モラル教室等を通して、子ども自らが危険を予測し危機対応の力を育む指導を継続していきます。また、心身の健康相談や職に関する指導、個別的な相談指導等を通して、自ら心身の健康を高める健康教育と食育の充実を図ります。

IV 個性を生かし生きる力を育む学校づくり

		職員評価集計結果				保護者評価集計結果				児童評価集計結果			
		令和5年度後期		R5 前期	R4 後期	令和5年度後期		R5 前期	R4 後期	令和5年度後期		R5 前期	R4 後期
		平均値	肯定%	平均値	平均値	平均値	肯定%	平均値	平均値	平均値	肯定%	平均値	平均値
17	教育課程の編成・実施・改善・充実	3.5	93%	3.5	3.6								
18	基礎的・基本的学力の確実な定着	3.4	85%	3.5	3.6	3.5	96%	3.5	3.4	3.5	90%	3.5	3.3
19	よりよい人間関係づくり	3.3	93%	3.4	3.5	3.5	94%	3.5	3.4	3.5	94%	3.5	3.5
20	協力して課題を解決する力	3.7	96%	3.7	3.7	3.4	95%	3.5	3.4	3.5	93%	3.6	3.5
21	自ら学ぶ姿勢づくり	3.3	89%	3.6	3.6	3.4	93%	3.5	3.5	3.4	91%	3.4	3.2
22	教職員の資質・能力向上の取組	3.8	97%	3.8	3.8								
23	分析・重点化	3.7	97%	3.7	3.8								
24	専科指導・少人数指導	3.8	97%	3.8	3.8	3.6	98%		3.6	3.4	89%		
25	読書指導の充実	3.7	97%	3.8	3.8	3.6	96%	3.6	3.5	3.2	78%	3.2	3.1
26	ICTの効果的な活用	3.6	93%	3.5	3.8	3.6	98%	3.6	3.5	3.6	95%	3.7	3.6
27	道徳教育の充実	3.5	93%	3.6	3.6	3.5	96%	3.5	3.4	3.5	92%	3.5	3.5
28	キャリア教育などの諸教育	3.5	89%	3.5	3.6	3.6	100%	3.7	3.5	3.5	94%	3.6	3.5
29	体力づくり	3.7	97%	3.8	3.8	3.6	98%	3.7	3.6	3.6	93%	3.6	3.6
30	給食指導・食育指導	3.9	97%	3.8	3.8	3.6	98%	3.6	3.5	3.5	92%	3.4	3.4

【新年度の方針・アンケート記述に対する回答】

□ 主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善を図っていきます。目指すのは、子どもが自ら見通しを立て進んで考える授業、対話を通して自己を高める授業、「わかる・できる喜び」があり次への意欲を高める授業、学び方を身に付ける授業です。

その基盤として、学習規律「がんばる5」を指導するなど落ち着いて学ぶ環境づくりに努めます。また、教科担任制や習熟度に応じた指導、学年合同学習等の体制づくりを工夫します。

□ 各種調査から得られる客観的な資料や本校の特色、保護者・地域の願いを踏まえて、将来必要な資質・能力を育成する教育課程の更新、編成、実施に努めます。具体的には次のような教育活動を重視した教育課程を編成します。

- ・ 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る学習

- 探究的な活動や質の高い体験活動を通して生き方を考える総合的な学習の時間
- 社会的・職業的自立の基盤となるキャリア教育
- 地域の教育資源を有効に活用した，社会とつながる地域との協働的な学び
- 楽しい体育の授業やマラソン，縄跳びなどの取組を通して自ら運動に親しむ体育
- 学校図書館や電子図書館等の利活用を通して人生を豊かにする読書
- 人としての生き方の考えを深める道徳教育
- 自発的・自治的な力を高め，自信を獲得する，児童会・クラブ活動や学校行事

□ タブレット端末を活用した学習についてのご質問やご意見が複数ありました。ICTの活用は「これから」の教育に求められるものであることから，これまでの実践とICTとのベストミックスを追究しながら教育活動を進めます。

なお，令和6年度から旭川市内の全小中学校で平時に端末を持ち帰り，家庭学習に活用する予定です。新年度に保護者に詳細を説明したうえで実施します。

□ 年間授業時数や週時程についてのご質問がありました。本校では学年閉鎖等に備えて，また学力向上の観点から，学習指導要領で定められている年間標準授業時数より50～80時間程度多い授業時数を確保しています。そのため，他校より授業時数が少ないということはありません。週時程については，学校の生活リズムの安定や児童の負担，教職員の働き方改革の観点から，授業のカットをできるだけ行わずに設定しています。令和6年度も週の授業時数を増やさずに時間割を組んでいきたいと考えています。

□ 体力向上のために雪遊びの時間の設定や，遊具の増設を求めるご意見がありました。今後も外遊びや運動遊びを推奨するとともに教育課程の中で体力づくりを行っていきます。また，遊具の増設については今後も市への要望を続けます。ただ，すぐに実現することが難しいことをご理解いただきたいと思います。



V 学習習慣・生活習慣

		職員評価集計結果				保護者評価集計結果				児童評価集計結果					
		令和5年度後期		R5 前期	R4 後期	令和5年度後期		R5 前期	R4 後期	令和5年度後期		R5 前期	R4 後期		
		平均値	肯定%	平均値	平均値	平均値	肯定%	平均値	平均値	平均値	肯定%	平均値	平均値		
31	生活習慣	早寝・早起き・朝ご飯の習慣を心がけて生活している。						3.2	84%	3.3	3.3	3.3	86%	3.4	3.3
32	メディアの使用	家の約束を守って、ゲームやスマートフォンなどを使っている。						3.0	74%	3.0	3.0	3.4	87%	3.4	3.4
33	学習時間	家で（学年×10+10）分以上学習している。						2.5	47%	2.6	2.6	2.8	67%	3.0	2.9

【新年度の方針・アンケート記述に対する回答】

- 保護者・児童の回答結果をみると、他の項目に比べて評価が低く、学習習慣・生活習慣に課題があることがわかります。これらの改善に向けて学校としてできることに取り組んでいきます。
- ご家庭の皆様と連携を図りながら望ましい習慣の定着を図っていきます。そのために、学校では自主学習や宿題のねらいを明確にし、その進め方や内容を学年に合わせて指導するとともに、子どもたちの意欲を高める手立てを講じていきます。
また、早寝・早起き・朝ご飯などの基本的な生活習慣について繰り返し指導し、学級通信や参観日の懇談等でも話題にして、意識を高めていきます。
- 今後も家庭におけるスマホやゲームなどの電子メディアの使用の実態を把握して、電子メディアとの上手な触れ方を児童に指導し、ご家庭にも提案していきます。また、インターネットやSNSに関わる安全意識を高めるための授業を実施します。
- 今年度設定したスライド日課の効果についてご質問がありました。上記の結果の通り、家庭学習の時間が増えているとはいえません。ただ、本校では授業の質の向上を図るため、放課後に多様な研修活動を設定し、授業改善や学校力向上の取組等を進めています。その結果、客観的な調査において、国語・算数の学力や授業改善の項目では、全国平均を上回る結果となるなどの成果を得ていると捉えています。
家庭においてメディアの接触時間のうち30分を家庭学習または読書の時間に振り替える「スライド30」は、上川管内全体の取組であり、今後もスライド日課の設定とともに継続します。各学級で「スライド30」の意識が高まるよう継続的に指導します。また、ハッスルシートに「スライド30」の欄を設けるなどして振り返る場を設定します。

【I～Vに分類できないアンケート記述に対する回答】

□ 運動会、学芸会、スキー学習などの行事の運営についてご意見をいただきました。各担当の部で検討し、以下のように対応することにしました。ご理解とご協力をお願いします。

- 運動会の日程について、行事の目的や内容、児童・保護者の負担等を考慮し、令和6年度も時間帯を分けずに全校一斉の午前開催とします。
- 学芸会の観覧席について、令和6年度は最前列にカーペット席を設定し、カーペット席、椅子席、立ち見スペースという三段階にします。また、子どもたちがステージで発表する場面を増やすなどして、子どもたちの活躍をできるだけご覧いただけるよう工夫します。
- スキー学習期間中のスキー板の保管については、校内で場所の確保が難しく、紛失や破損の恐れもあるため、3年生以上は当日の持参、持ち帰りをお願いします。

スキーのレンタルについて、引率教員が手薄なためレンタルの対応が難しいという現状があります。また、できるだけ自前の道具で練習してほしいという思いがあります。ただ、今後も近隣校の対応を確認しながら検討していく必要があると考えています。



おわりに

今年度は、教育活動の検証改善サイクルの短期化を図るため、前期（7月）と後期（12月）2回の保護者アンケートを実施しました。2回目となった今回も多く保護者から前向きなご意見を多数お寄せいただきました。皆様のご協力に心よりお礼申し上げます。

そのすべてに意を尽くしてお応えできないことは心苦しいのですが、今回も複数の保護者からいただいたご質問やご意見、保護者の皆様に一層ご理解いただきたい点を中心に回答をまとめました。

学級内の係活動や座席替え、学習の仕方、給食指導、友達関係の相談など、担任や担当者が個別に対応した方がよいと判断したご質問等については、アンケートの回答をいただいた12月に連絡をとって相談させていただいています。また、今後の対応を直接お伝えしたいご質問等についても2月に連絡させていただきました。

アンケートの記述欄では、本校の教育活動に対する肯定的なご意見やお礼の言葉を数多くいただきました。担任による日常の指導やトラブル対応、学級通信の配信、あい運動や子どもたちの挨拶、校長による朝の校門前の見守り、保健室の対応、……。担任や担当者に対する心温まるお言葉、本当にありがとうございます。これらを日頃の取組の成果と捉えて励みにしながら、そのお言葉に甘えることなく一層の学校改善に努めていきます。

一方で、私たちの指導の仕方や学校の対応に対するご指摘やご要望もいただきました。それらを貴重なご助言として前向きに受け止めて、今後の学校運営や教育計画の作成に反映させていくとともに、教職員一同気を引き締めて教育活動にあたります。

今後もより多くの保護者の願いを学校改善につなげられるよう努めていきますので、本校の教育活動へのご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

